

テレビ 70 年記念ドラマ 『大河ドラマが生まれた日』

2023 年は大河 60 年。

そのスタートはドラマ事情などを全く知らないテレビマンの号令だった！！
若きテレビマンたちによる笑って泣ける大河ドラマ誕生奮闘記

【あらすじ】

1962 年。NHK 芸能局の若手アシスタントディレクター山岡(生田斗真)は、上司の無茶ぶりに困り果てていた。ドラマ業界を全く知らない新しい芸能局長が「テレビ 10 周年を記念した大型番組を作れ。映画に負けない日本一の大型娯楽時代劇だ」と号令を発したのだ。この頃、映画会社は「五社協定」を結び専属俳優をテレビに出さないことにしていた。それを突破すべく、山岡たちは大スター佐田啓二の自宅に日参する。しかし何度足を運んでも色よい返事はもらえず、「もうあきらめます」と最後の挨拶に行ったその日、佐田は出演を受けてくれたのだ。佐田はアメリカの友人に、アメリカのテレビ事情を聞き、「将来、娯楽の王様はテレビに変わる」と知らされたのだった。佐田の出演決定により、雪崩を打つように映画スターたちの出演が決まった。しかし、収録が始まると、現場は問題勃発ばかり。山岡たちは現在では一般的になった収録方法をどんどん生み出しながら、放送日に向けて突き進んでいく！！



<主演> 山岡 進平役 **生田斗真**

<コメント>

長い歴史のある大河ドラマに何度か出演させていただきましたが、その一番はじめ、いったいどうやってこの大河ドラマが始まったのか。意外にもいろいろと笑えるエピソードがあることが分かりました。どんなドラマになるのか、私自身もとても楽しみにしています。

金子茂樹さんとは何度かご一緒させていただきましたが、とても素晴らしい脚本です。完成を楽しみに待っててください。この夏は、このドラマの撮影に全身全霊を捧げたいと思っています。

<脚本> **金子茂樹** ※NHKドラマ初執筆

<プロフィール>

金子茂樹(かねこしげき)、1975 年生まれ。2004 年「初仕事納め」で第 16 回フジテレビヤングシナリオ大賞受賞。近年の主な受賞歴に 2018 年「ボク、運命の人です。」で第 6 回市川森一脚本賞、2020 年「俺の話は長い」で第 38 回向田邦子賞受賞。

【放送予定】 2023年2月 放送予定

【脚 本】 **金子茂樹** 【主演】 **生田斗真**

【制作統括】 千野博彦(知財センター) 佐野元彦(NHKエンタープライズ)

【演 出】 一色浩司(NHKエンタープライズ)